

大高ジャーナル

発行所
鹿児島県立大島高等学校
新聞同好会
奄美市名瀬安勝町7-1

参院選特集号
1面…参議院議員選挙特集
2面…島人キーパーソンに聞く
3面…記者の黒箱作り体験
4面…文化祭特集
5面…大高生県総体の活躍
6面…しまんちゅの1人発見他

大高ミニギャラリー



▲2面に登場する写真家、別府亮さん撮影の「ハートロック」(龍郷町)魚眼レンズで撮影したもの。



奄美大島
奄美大島は鹿児島県本土から南西約370km、面積712.35km²、広さ日本5位(本州等4島除く)の島、亜熱帯海洋性気候、奄美群島国立公園の一部

大高坂
2016年の公職選挙法の改正により、選挙権が与えられる年齢が20歳から18歳に引き下げられた。世界的には、18歳で選挙権を付与する国が多く、世界の標準にそろえたと言える。▼しかし、2017年の衆議院議員選挙では、18歳の投票率が47.87%で全体の投票率53.68%を下回った。若者の投票率が低いことが、シルバード民主主義を加速させると危惧されている。シルバード民主主義とは、若年層の投票率の低迷や、少子高齢化により、投票率の高い高齢者の意見が政治に反映されやすくなるということだ。民主主義が数の論理である以上、投票数の多い世代に手厚い政策が行われやすくなることは当然だ。このような状況が続くと、ますます若者の政治に期待する気持ちが遠ざかり、投票率が落ちかねない。▼「自分一票では世の中は変わらない」と言う若者の声はよく聞く。しかし、民主主義が多数派を優先する以上、一票を積み上げることで方法はない。しっかりと自分の将来を見据え、どのような国で暮らしたいかを考えて、ぜひ具体的な行動に移したい。
【最上】

参院選投票行く9割

高者 大島 有権者

本校生意識調査

有権者69人意識高く

「子育て・教育」に関心

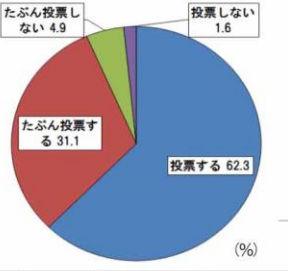
2016年の公職選挙法改正により、高校3年生で18歳の生徒も有権者として国政選挙等で投票できるようになった。7月21日に参議院議員通常選挙が行われることから、大高ジャーナルでは、本校3年生に向けて投票行動についての意識調査を行った。それによると、本校の有権者69人中、回答した61人中93.4% (57人) が投票に行くことに意欲的であり、本校生が投票行動に対して高い意欲を持っていることが分かった。また、投票の際に意識する政策として「子育て・教育」「景気対策」「医療・介護」等の身近な生活に影響のある争点を受けた生徒が多い結果となった。(吉永・重信・林・森山・若師)

全国と比較して極めて意欲的

今回の意識調査では本校3年生229人のうち、202人の生徒からの回答を得ることができた。その回答の結果、大島高校の有権者69人のうち回答した61人中93.4% (57人) が「投票する」「たぶん投票する」と回答した(問1)。この数は、2017年の衆議院選挙の全国の18歳の投票率47.87%と比較しても、本校の有権者が、極めて投票行動に意欲的であることが分かった。また、「たぶん投票しない」「投票しない」と答えた人は6.5% (4人) に止まり、その理由をたずねたところ、「政治に詳しくないから」「誰に投票すればよいのか分からないから」「政治に関心がないから」など、政治に関する知識不足による不安が原因となっていることが分かった。

身近な政策に高い関心

また、本校の有権者が



問1 今回の選挙であなたは、投票に行きますか？(期日前投票も含む)



問2 あなたが投票する際に、もっとも意識する政策は何ですか？(2つまで回答)

「子育て・教育」が身近な課題として存在するといえる。また、島外での生活は経済的な面で負担が大きいか、地元での雇用が簡単ではないことから、「景気対策」「消費税」にも高い関心をもっているのではないかと考えられる。

「医療・介護」への関心が高いのは、奄美大島の若者が地元で就職する際に「医療・介護」に関する職業が有利と考える生徒が多いことが影響していると考えられる。自らの将来に関わる身近な課題を選挙の争点としてとらえている本校生。実際の政治においても、奄美大島の若者たちの将来が明るくなるような政策を望みたい。



選挙用紙は2枚「選挙区」と「比例」参議院議員選挙は、「選挙区選挙」と「比例代表選挙」からなる。「選挙区選挙」は、原則都道府県を単位にした区域で行われる。今回の鹿児島選挙区からは3名が候補者として入るから、そのうち1人の名前を書く。「比例代表選挙」は、全国を14区、4位が「わからない」(9.8%・10人)、5位が「消費税」(8.8%・9人)という結果であった。このことから大高生の有権者の意識として、憲法改正や外交・防衛といった争点よりも、より生活に身近な争点に関心をもっていることが分かった。また、「わからない」という意見が4位に入っていることから、政治に対する知識不足があることも分かる。投票への意欲はあるのに、政治の情報不足している生徒への情報提供の在り方と今後の課題と言えるだろう。

メールは禁止 SNSはOK

平成25年の法改正により、インターネットを使っての選挙活動が可能になった。ウェブサイトやSNS等を使って、選挙活動を行うことができる。ただし、選挙活動を行うことのできる年齢は、満18歳以上の有権者である。選挙活動を行う際には、政党名や候補者名を記載して投票を行う。政党の得票数に応じて、各政党の当選者が決まる。特別に当選してほしい人が決まっている場合、個人名をの投票数が多い順に各政党の中で当選者が順に決まる。

入場券を忘れても大丈夫

投票所に行くとき、最初に家に送られてきた入場券を示して受付をする。もし、入場券を忘れても、本人確認ができれば投票できるので、当日忘れてもあわてないこと。

メールは禁止 SNSはOK

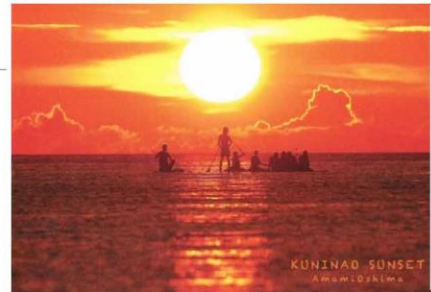
投票の際には、誤字や、不要なことを書く、票が無効となることもあるので、無効とならぬよう、記載台の名前等の掲示をよく見て正確に書く。
【上月・玉城・松村】

しまっちゅ 島人 キーパーソン に聞く

Vol.1

多様な表情が奄美の魅力 身近な風景から発信

「みんなが簡単に「まるで海面に人が立っているように見えた」と別府さん。SU P(スタンドアップパドル)に乗る人と国直海岸の夕日の写真。」



降りて写真を撮りました。A 世界自然遺産に登録された、自然が守られることはいいことだと思いませんか？

クイス コクト君とまーじんま!

Q 奄美大島の笠利町が発祥の、黒糖と餅粉を使った甘くておいしい郷土菓子はな〜んだ?

- ①舟やき
- ②かしや餅
- ③ふくらかん



Q 写真家になろうと思ったきっかけは何ですか?
A 学生時代に偶然入ったカメラ店でアルバイトを始めたのですが、それが写真との出会いですね。カメラのことをよく知ろうと一眼レフを購入したら、写真の魅力にはまっ

ましたね。1999年末に初めて写真のホームページを作ったところ、偶然それを見た人から、「カメラは作らないんですか?」と聞かれ、制作することに。それが予想外に好評で、それから徐々に写真家の道を歩むようになりまして。

Q 写真家としての喜びは何ですか?
A 写真を撮ること自体が喜びです。外に出て良い風景を探し、いい角度を見つけてシャッターを切るだけでもテンションが上がります。風景を撮るのには時間がかかることもありますが、「いい写真を撮るため」なので、あまり苦労とは思いません。

Q 写真を撮る上で大切にしていることは?
A 写真を撮る上で大切にしているのは、真を見た人が実際にいける風景を撮ることです。奄美大島に降る雪というのが昔からずっと見たくて、標高が高く、雪の降る可能性のある湯湾岳に冬に通っていました。そんな中、2005年の3月5日、ふと車のヘッドライトに当たる白いものを見て、雪だと確信しました。すぐに車を降りて写真を撮りました。

Q 奄美の世界自然遺産登録についてどう考えますか?
A 高校時代はとにかく勉強にはまっていたので、部活はバスケットボール部でしたが、部活以外の時間は、全て勉強していた印象です。数学の問題の解法が晩飯中にひらめいて、ダッシュで部屋に戻って解いたりすることもありました。睡眠時間は削りませんでした。どうにかして勉強時間を作ろうと必死でした。英単語帳を見ながら登校したり、寝る時に英語の

Q 今の高校生に伝えたいことはありますか?
A 目の前にあることを一生懸命にやり、自分を磨いて下さい。その際「脳を鍛える」ことも大切です。今、「何のためにこんな勉強してるんだろ?」と思う人もいます。勉強自体は将来使うことではないかもしれませんが、でも、その勉強を通して学ぶ「思考の仕方」が大切なんです。僕は大学では心理学を学びました。その考え方や方法論が写真にも役立つと思います。高校生活の色んなものにチャレンジして、自分の引き出しをたくさん増やしてください。出来れば楽しんで、「好きこそものの上手なれ」

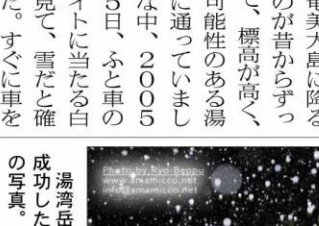
「奄美大島探検マップ」で発信し、魚眼レンズで撮影した風景を地元紙に連載しています。本校の卒業生でもある別府さん。写真家として、大高のOBとしての思いを熱く語って下さいました。(中村・若師 上月・若師)



奄美の身近な風景を全国に発信する写真家 別府 亮さん

1974年(昭和49年)11月24日、大島市校科バツ。美浦市入切の親、朝日中学校卒業。カメラを趣味とし、2000年3月にHP「奄美大島探検マップ」を発信し、地元紙に連載。現在、大高市在住。44歳。

Q これまでの経験で、一番印象に残っていることは?
A 一番印象に残っているのは、「奄美で降る雪」です。湯湾岳の林道で撮影に成功した雪とヒカゲヘゴの写真。



Q 奄美大島に降る雪についてどう考えますか?
A 高校時代はとにかく勉強にはまっていたので、部活はバスケットボール部でしたが、部活以外の時間は、全て勉強していた印象です。数学の問題の解法が晩飯中にひらめいて、ダッシュで部屋に戻って解いたりすることもありました。睡眠時間は削りませんでした。どうにかして勉強時間を作ろうと必死でした。英単語帳を見ながら登校したり、寝る時に英語の

Q 今の高校生に伝えたいことはありますか?
A 目の前にあることを一生懸命にやり、自分を磨いて下さい。その際「脳を鍛える」ことも大切です。今、「何のためにこんな勉強してるんだろ?」と思う人もいます。勉強自体は将来使うことではないかもしれませんが、でも、その勉強を通して学ぶ「思考の仕方」が大切なんです。僕は大学では心理学を学びました。その考え方や方法論が写真にも役立つと思います。高校生活の色んなものにチャレンジして、自分の引き出しをたくさん増やしてください。出来れば楽しんで、「好きこそものの上手なれ」

政治と若者の相互の努力で 若者の積極的な投票につなげよう

2016年に選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられてから、若者の政治に対する意識や投票率について議論されることが多くなったと感じる。少子高齢化に伴う社会保障制度の拡大や外国人労働者の受け入れ体制の整備など現在の日本には問題が山積みだ。だからこそ未来ある若者の積極的な政治参加を促したい、それが選挙権年齢引き下げに至った背景だろう。だが、現実を目を向けるときに、政治と若者の間に大きな意識の違いが存在しているように思

える。まずは、それぞれが重視している問題の違いだ。今回行われる参議院議員選挙で争点となっているのは、憲法改正・年金問題・消費税引き上げに関するものである。消費税引き上げに関する点で、大高市が独自に行った意識調査では多くの生徒が「子育て・教育」や「医療・介護」など自分たちにとって身近な問題に対する政策の提案を重視していることが分かった。このことからも、政党や候補者は若者の関心

をより意識した政策の提案を重視してほしいと考える。また、高校生が投票を躊躇する大きな原因の一つに、「わからない」という不安意識が大きいことも意識調査から見えてきた。確かに、選挙公報や公開討論会など候補者の考えを知り、自分の投票先を決めるのは簡単なことではない。しかし、どの候補者がいいか、どの候補者が悪いかわからない。このように若者が抱えることは大きな問題だ。例えば最近の例として、E.U.残留留の民投票の結果がある。E.U.残留留の民投票の結果がある。E.U.残留留の民投票の結果がある。E.U.残留留の民投票の結果がある。

このようにお互いが努力し、投票率の高い選挙を成功させることこそが、真の民主主義に繋がるのではないかと考える。

「うまく撮るコツは、自分が動いて、見る角度を変えること」と語る別府さん。





いも一れ奄美！
魅力発掘 Vol.3

奄美伝統の製糖に挑戦

まずは洗浄
2時間煮詰め

梅雨の晴れ間の広がった
6月15日、記者6名は笠利
町用安海岸沿いにある「奄

奄美きよら海工房

奄美の特産物といえは、大島種のような伝統工
芸品、鶏飯などの郷土料理など数多くあるが、今
回、新聞同好会では、黒糖をピックアップ。お土
産品として販売されている黒糖は、見た目も味も、サ
トウキビから搾汁して煮詰める伝統的な製糖作
業は地元に住む私たちも経験がある人は少ないの
ではないだろうか。
今回、記者たちがその伝統的な製糖にチャレン
ジ！現在人気のカフェレストラン「奄美きよ
ら海工房」(奄美市笠利町用安)さんの協力で、
黒糖づくり体験を通して、地元の特産品の魅力を
体感してきました。



グッドデザイン賞を受賞した
おしゃれなレストランの建物

美きよら海工房を訪れた。
近年観光客にも人気の自
社製糖、自社製塩にこだわ
る本格的なイタリアンレス
トランだ。製糖作業は道路
沿いの工房で体験させてい
ただいた。まず、製糖作業
は、サトウキビの洗浄に始
まる。今回は高圧洗浄済み
のサトウキビを搾汁すると



洗浄したサトウキビを機械に投入
して搾汁する

このから体験した。搾汁す
るために機械にどんどんサ
トウキビを投入するが、み
ずみずしいサトウキビ自体
は重量があり力が必要だ。
しぼられた汁は2時間ほど
ひたすら煮詰める。パーナ
ーの火で煮詰め続けるため、



もうもうと蒸気が上がる中、ひた
すら煮詰めていく

夏は特に暑く、
過酷な作業だ。
私たちも、も
うもうと上がる蒸気の中、
棒でかき混ぜ水分を飛ばす
作業の後、どんどん出てく
るアクを取り続けた。実際
に体験してみると、かなり
の重労働。アクを取らない
で作る工場もあるとのこと
だが、きよら海工房では、
苦みのない黒糖づくりにこ



いいねいなアクとりは、えぐみの
ない黒糖づくりに欠かせない

が出来るとい結論に達し菊次郎は宣
蘭のための社会基盤の整備に力を注い
だ。宣蘭は水の豊かな農村地帯だった
ため、台風直撃を受けると宣蘭川は
毎年のように氾濫。田畑や家を押し流
し、伝染病が蔓延し人々を苦しめてい
た。そこで菊次郎は堤防を築き宣蘭川
の氾濫を防ぎ、住民からは非常に感謝
された。また、その他にもたくさん
のすばらしい政策を実施したため治安が
良くなり、人々の生活を安定させるこ
とに成功した。



固まった黒糖を食べやすい
ようにはさみてカットする

することも多いとのことだ
が、きよら海工房では、純
度100%のサトウキビか
ら絞られる汁だけで作られ
ている。水飴等の混ざら
ない黒糖を試食したところ、
強い甘みがあった甘みが舌先に
感じられるのに対して、純
度100%の黒糖は優しい
自然の風味が口いっぱい
に広がり、たくさん食べても
胸焼けしなかった。



奄美きよら海工房
店長 吉永博文さん

伝統的な製法の魅力を体
験することができて、記者
たちも大満足の体験取材と
なった。体験の後、美しい
海岸の景色が広がるきよら
海工房のテラスで、店長の
吉永さんにインタビューさ
せていただいた。

黒糖も塩も
素材づくりから
一実は、当店で製糖する
サトウキビ自体、自然農法
にこだわった自社農園で収
穫したものです。例えは、
除草剤や農薬は一切使いま
せんし、除草した草やサト
ウキビの絞りかすのバカス
も肥料として再利用します。
土を作るのにも2年はかけ
るんですよ。それによって、
サトウキビ自体の甘さなど
の風味も異なっています。
通常の製糖は冬に行います。
夏の畑作業は、ハブが出る
危険性も高いですし、サト
ウキビの糖度自体も高くあ
りません。しかし、年間を
通じて訪れる観光客の方々
に、自然製法にこだわった
製品を提供したいと考えて、
夏の作業も行っています。
黒糖は、ミネラル豊富で

実録！西郷菊次郎(下)



西郷菊次郎

西郷隆盛と愛加那(愛子)の間に奄美大島の龍郷集落で生まれた
菊次郎と菊草。大高ジャーナルでは、本紙記者たちが龍郷町の「り
うがく館」で行われた「西郷隆盛と菊次郎展」を見学し、またその
記念誌等を参考にその歴史を学び、第2号でその半生を紹介した。
今回は、西南戦争での心と体の傷を、故郷奄美の母愛加那のもとで
癒し、台湾の宜蘭庁長や、京都市長、鹿児島県の永野金山館長とし
て活躍していく様子やその晩年について紹介する。(若師)

17年5月に外務省の御用掛(会計局
の肩書)に就いた。
翌年、菊次郎は外務大書記からの辞

大臣の陸奥宗光から手紙を受け取る。
陸奥は菊次郎の留学中に面識があった
上、菊次郎の叔父や義兄などの依頼も
あって、彼の再就職を気にかけていた。
そんな陸奥の計らいで、菊次郎は宮内
省に入り農商務省に出向した後、18
91年(明治24年)に外務省に戻り、

その2年後、1904年(明治37年)、
菊次郎は第一代京都市長となる。市長
となった菊次郎は京都三大事業を実現
させるとともに、様々な近代都市の原
型を築いた市長として高く評価されて

令で、念願のアメリカ勤務が決まりサ
ンフランシスコへ向かう。公使館で留
学生の管理と会計事務の補助の仕事
しながら正式な英会話の教育も受けた
そして、アメリカに来て2年経った頃
仕事ではなく学生目標でアメリカで勉
強したいと思ひ、辞職し官費留学生と
してアメリカに滞在した。こうして二
度目の留学生生活を送った後、1890
年(明治23年)、切断了右足の不調
を理由に帰国した。
帰国して間もなく、菊次郎は農商務

1902年(明治35年)菊次郎にとっ
て悲しい出来事が続いた。7月18日叔
父・従道が、そして母・愛加那が9月
28日に亡くなった。宣蘭堤防の第
二期工事も終わった。二期工事の完成に
確信を持つ菊次郎は辞表を提出し、
7年半の台湾勤務を終えた。菊次郎42
歳の頃であった。

1911年(明治44年)、菊次郎は
健康上の理由で京都市長を辞任し、鹿

健康にもいいです。そして
ココのある甘ささっぱり
した後味が料理にも最適で
す。当店のパンにも、もち
ろん手作りの黒糖を使用し
ています。また、塩は目の
前の海岸50メートル先の海
から取水して製塩していま
す。サンゴでろ過された塩
は、ミネラル豊富で後味が
甘いんです。これからも奄美
の伝統製法を生かした商品
作りで、多くの方々に喜ん
でもらいたいと考えていま
す。

「吉永・諏訪・上月・里・
要田のか・要田悠那」



製糖体験の途中で、絞られたサトウキ
ビ100%ジュースを御馳走に。自然の甘
さの清々しさを感じ!!

「令和元年度」文化祭 特集

君は文化祭に「療」を見たか

6月9日、大島高校第71回文化祭が... 文化祭の最後を飾った「テーマソング」。全校生徒の心が一つに。

感動のオープニング・エンディングで心ひとつに

令和最初の文化祭としての動画を公開した。この動画作成に関わったのは、文化祭実行委員が作成したオープニング動画だった。

今年は「令和と平成の移り変わり」をテーマに映画『君の名は』を題材とした動画を公開した。



文化祭の最後を飾った「テーマソング」。全校生徒の心が一つに。

行動で郷土に貢献を

世界自然遺産推進シンポジウム

鹿兒島県主催の第1回奄美世界自然遺産推進シンポジウムが6月30日、奄美市内で行われた。専門家の講演や地元関係者らのパネルディスカッションなどがあり、参加したパネリストからは、奄美の自然について、「住民の意識が低い」「動植物に対する知識が乏しい」などの指摘が相次ぎ、住民参加型の希少種保護や外来種対策について議論が



生物部 富元 伶司君 (3-1)

講演や地元関係者らのパネルディスカッションなどがあり、参加したパネリストからは、奄美の自然について、「住民の意識が低い」「動植物に対する知識が乏しい」などの指摘が相次ぎ、住民参加型の希少種保護や外来種対策について議論が



環境教育や体験活動も求められている。子どもたちの自然体験も求められている。

交わされた。パネリストとして参加した富元伶司君(3-1・名瀬中)は、「僕は山に行くのが趣味で、ここ数年のうちでも地形が変わったり、生き物がいな



舞台の最後を飾ったクラス全員でのステージの様子。(3年6組)

ステージ部門 1位は3年6組

3年生のステージ部門で最優秀賞は3年6組、2位の優秀賞となったのは3年1組だった。最優秀賞の3-6のメンバーは、「文化祭の発表をめぐって意見のまとまらないうちに、彼らの前には小さな炎が現れ全の炎を集めた時、最高のモノが出来上がる」という内容の映画の上映とバンド演奏、ダンスをス

横風我君(3-6)は「動画編集が思うように進まず、編集のため深夜遅くまで起きていたことが続いたら、最優秀賞となれなかったが、最優秀賞を飾った」と語った。優秀賞を飾った3-1は、「思いやりの心を持つことができない受験生である大高生が成長していく物語」を演じた。体岡天音さん(3-1)は、「一組の皆は何一つ文句も言わず、ついてきてくれて本当に嬉しかった。当日は、やり切った感で一杯でした」と振り返った。(里)

くなったたりすることがあって、自然の変化をとても早く感じます。また、今度こそ、マンクースは根拠が指さされていますが、根拠が小中学生の頃はマンクースはハフを倒すヒーローだと教えられたこともあり、このようにシンポジウムなどを通して、得た知識をもとに、島の一人として具体的な行動で奄美に貢献していきたいです」と語った。(中村)



1枚1枚が奄美の動植物の写真でできた「アマミノクロウサギ」のモザイクアート

展示部門では、1・2年生の教室が写真スポン

展示部門は、1・2年生の教室が写真スポン

展示部門は、1・2年生の教室が写真スポン



創立118年をむかえる伝統ある本校の卒業生の方に当時の大島高校生の時の思い出を語っていただく「あの頃の大高」第2回は、第52期生の数学科の川元勇人先生です。

先輩の後、ろから学ぶことも多かったです。山崎君はその後、猛勉強して広島大学に進学。先生も生徒も強烈な個性の集まりが大高らしさだったような気がします。



2-1担任で男子バレーボール部の顧問

当時の大高の様子はどうですか？ A 各学年9クラスあって全校生徒が1000人以上いました。男子バスケットボール部や空手道部が全国大会に出場していましたね。男子バスケットボール部がインターハイ出場を決めたときは授業中に校内で緊急放送があり、鳥肌が立ったのを覚えています。

今以上に活気があり、いい意味で先輩後輩の上下関係が厳しかったんです。

「なんで他人に製作させているのか！」と激怒。当時は今よりもそんな理

【最上・森山】



体育祭での俄競争の様子。「高校時代に培った体力が今を支えています」と川元先生。

インターハイ開会式を演出

本校注目の生徒をクロージングアップする「大高一番星」。

今回は7月27日に鹿児島アリーナ(鹿児島市)で行われる南部九州総体の総合開会式の演出を担当する原奈乃子さん(3-3)原さんは1年生の10月から1度のペースで鹿児島市に行き、県内の高校スタッフと交流しながら2年あまりの時間を

現在は、総合開会式の中で高校生主体でパフォーマンスをする「選手団激励」

また私が所属している推進委員会の約20名のメンバー



はらなのこ 原奈乃子さん (3-3)東城中出身



Q 練習をしています。毎月打ち合わせをしていますが、どんなことが大変だと感じますか？

A 県内の高校生20名で話し合つので、意見をまとめること



1982年以来37年ぶりに本県で開催されるインターハイを準備する高校生たち



県総体終了後に、鴨池公園水泳プールで撮影した水泳部員たち

空手道部



大島地区大会で男子総合優勝・女子総合2位となった陸上部

陸上部

(大島地区高校陸上競技大会)学校対抗男子優勝 男子400M1位 重信伊織(3-1・篠川中) 男子500M1位 迫田陽星(3-1・小宿中) 男子4x100Mリレー1位 原恵仁(3-5・朝日中)・吉永直(3-1・小宿中)・重信・渡瑞希(3-2・小宿中) 男子4x400Mリレー1位 平康樹(2-2・龍南中)・福田駿介(2-4・赤木名中)・松元聖真(2-3・赤木名中)・重信 女子100M1位 都外川芽衣(3-4・名瀬中) 女子200M1位 都外川 女子やり投げ1位 森ほか(2-3・龍南中) 女子4x100Mリレー1位 柴垣季乃(3-2・赤木名中)・奥田七華(3-4・小宿中)・吉田愛恵(2-4・朝日中)・都外川

県総体 男子団体組手2位 女子団体組手3位

野球場部

(春季大島地区高校野球大会) 優勝

空手道部

(県高校総合体育大会) 男子団体組手2位 女子団体組手3位

新体操部

(県高校新体操学年別種目別選手権大会) 女子団体3位 3年個人3位 久保紗英(3-1・金久中)



奄美市名瀬運動公園で行われた大島地区大会で優勝した野球部の雄姿

久中 (県高校総合体育大会) 女子団体 3位

水泳部

(県高校春季水泳大会) 女子200M個人メドレー3位 西村真緒(1-2・名瀬中) (県高校総合体育大会) 男子50M背泳ぎ3位 田畑貴太郎(2-1・名瀬中) (内野)

新体操部

5月18日に鹿児島市で行われた県総体の新体操の男女団体では、大島女子が2年ぶり3位に入賞した。出場したのは、久保紗英さん(3-1・金久中)・桑原舞さん(3-4・金久中)・永井夏海さん(3-1・名瀬中)・久保玲唯さん(2-1・金久中)・美田聖彩菜さん(1-7・朝日中)の5名。笑顔絶やさない演技に喝采が送られたという。そんな新体操部取材した。

県総体団体3位



主将の久保玲唯さん 持ちを一つにして挑む(2-1)は、「大会本番はみんなの緊張が伝わってきた。そんな中、みんなをとれたのは嬉しい。だ

1分30秒以内に自分を表現し、芸術性を競う。1つ1つの技ごとに意識を切り替えることが大切な新体操。団体においてはチームのメンバーに手具をいかに受け取りやすくするか、自分の演技だけでなく相手でも弱気にならない。立ち向かっていく。今後は九州大会出場を目標に頑張り」と語った。「安陵魂で美しく舞う」をモットーに、チームの絆が深い新体操部。部員募集中とのことなので、まだ部活に入っていない興味のある方はぜひ見学してみてください。(菊入)

聖火リレーで奄美を走ってみないか

6月1日、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが奄美市で初めて行われることが発表された。奄美市では、6月1日に先立ち「復興の火」として東日本大震災被災3県にて特別展示される。その後国内のリレーが始まり、聖火は全国を回る。

各方面から歓迎の声が上がった。聖火リレーはギリシャでの採火式から始まり、その後日本に空輸された聖火は、リレーに先立ち「復興の火」として東日本大震災被災3県にて特別展示される。その後国内のリレーが始まり、聖火は全国を回る。

応募条件は、応募受付はすでに始まっていて、7月1日から8月31日まで。応募は、東京2020オリンピック聖火リレー2020年4月28日、志布志市、鹿屋市、奄美市、南大隅町、霧島市、始良市、鹿児島市とリレーする予定。申込みは、



6月1日、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが奄美市で初めて行われることが発表された。奄美市では、6月1日に先立ち「復興の火」として東日本大震災被災3県にて特別展示される。その後国内のリレーが始まり、聖火は全国を回る。

※記事中の本校生の個人名に併記した中学校名は、出身中学校です。

エッセイ 悠里の Vol.3

ゆるゆるり

恋

勉強に部活動に忙しい日々を送る、奄美大島の普通の高校生の日常の思いを切り抜きました。

どうして人は恋を恋と認識できるのだろうか。恋に落ちるといふ感情・感覚は誰からも学ぶことができない。学校の先生にこれが恋だよと教わったわけでもない。それなのに

どうして人はこれが恋なんだ、と分かるのだろうか...。これ、という答えは見つからないけど一つだけ気づいたことがある。恋をすることで人は人間的に大きく成長し、新しい自分に出会えるのではないかと。恋をすることで、なにかとつもないエネルギーがどこからともなく湧き出てきて、もっと頑張ろう、と思えたりする。相手によく見てもらいためにちょっと髪型を変えてみたり、勉強を頑張ってみたり、自分ってこんなに頑張れるのかと嬉しくなるものなのだ。毎日がキラキラして学校に行くのも特段楽しいと感じるかもしれない。反対に、恋に破れ、悲しさに涙が止まらなくなることが



これから先あなたの人生で何かあるかもしれない。でもそこで、自分には何の魅力も無いからと落ち込まないでほしい。本当の失恋とは恋を失うことじゃなくて、恋によってあなた自身を失ってしまうことだと思うから。恋にはきちんとしたマニュアルがない分、人は試行錯誤しながら自分らしい恋の形を、新しい自分を見つけていく。きっと恋をするという感情は生まれてから多くの経験をして悩み、喜びを感じることで恋だ、と認識していくものなのだろう。思うに恋とは、私たちが生きていく限

しまんちゅ釣りに発見

大高メソンの休日と言えば「釣りに」。奄美の澄んだ海と青空に抱かれての釣りは島人(しまんちゅ)の心もお腹も満たす最高の趣味。今回は、54.5センチのチヌを釣り上げた大高の釣り名人、尚田凌太郎君だ。



今回の獲物チヌ。体長約54.5cm。奄美の最大記録が59.9cm(大熊漁港)とのことなので、なかなかの大物。ハリス1.5号の細い糸で釣り上げた。

尚田君に釣った後、どのようにして食べたのかを聞いた。「食べてない。僕は、釣りで自体をするのが好きなので、釣った魚は全て海に戻します。キャッチアンドリリース主義です」と驚きの回答。正に釣りそのものを愛する釣り名人だ。

尚田君に今後の釣りの目標を聞くと、「チヌの奄美新記録を釣り上げる」とやる気のある答えが返ってきた。尚田君のこれからの釣果が目が離せない。(寶村・島邑)



尚田凌太郎君 (3-4名瀬中出身)

君が釣りが楽しめる釣り人の人気ターゲットだ。春から秋とほぼ通年が釣り上げられるのは成長によって呼び名が変わる出世魚の一つ、クロダイだ。(例えば、関東では成長ごとにチンチンソウカイソウ、クロダイなどと呼ぶ)クロダイ自体は全国に分布するが、奄美大島の以南ではクロダイの近縁種である南クロダイのことを指し「チヌ」と呼ばれる方が多い。

尚田君は、奄美市小宿の某所にて、水深50センチほどのところにいる群れをねらった。奄美の澄んだ海では、偏光グラスをかけて水面を見ると、魚の姿がくっきり見える。「チヌは警戒心が強く、こちらが水面をのぞいただけでも警戒されて逆に難しい」と語る。エサは、高校生が大好きな、とあるお店のチヌだ。釣り始めて30分でアタリがあった。

極細のハリス1.5号で挑んだため、アタリの後、30分間はどよどよとしたという。「タモ網がなかったため、堤防から砂地に移動するなどして時間がかかった。だけど、糸を切らせずに釣り上げられたので満足!」とのこと。クロダイは生臭いという人もいるが歯応えのある白身で、特に旬である夏を迎えたものはマダイに劣らず美味である。料理

裏方。それは裏から表の華やかさを演出する、華やかさを演出する、いなと困る緑のしたの力持ち私たちは、その存在の大きさにどれほど気づき、どれほど感謝出来ているだろうか。(すずか)

裏方



(すずか)

クイズ コト君とまーじんま! の答えよ♥



美市の公式キャラクター「コト君」の答えよ。クイズ「ロレンちゃん」よ。ところで、今回のクイズの答えは、①の「舟やき」よ! 切り口が舟の形に似ていることから「舟やき」といわれるようになったらしいよ。昔から初節句を迎える女兒の健康を願い、その足を海水に付ける風習のハマオレ(浜下れ)や、5月の節句の行事がよく作られるみたいだよ! 結構なボリュームがあったり、1つでもお腹いっぱいになっちゃうわ。みんなもぜひ食べてみてね。(栄)



ばしゃ山(笠利町用安)の海岸で昨年4月に生後6か月で浜下れに参加した丸山倅芽ちゃん

放課後



写真は「Bセット」400円。アツアツでボリュームのあるハンバーガーをほおぼると幸せな気分になる!

大高生の青春のグルメを紹介する「放課後ぐるぐるめ」。美味しくて、お財布にやさしく、そしてインスタ映えするの3拍子そろった学校近くの名店を紹介する。

2000年に開店したお店は、今年で19年目だ。大高を温かく見守ってきた店主の「美味しくて、お財布にやさしく、そしてインスタ映えするの3拍子そろった学校近くの名店を紹介する。」という安さ。単品でも、ハンバーガーでも、ホットドックでも、200円、ホットドック200円、フライドチキン70円と高校生にやさしく、お財布にも優しく、ボリュームのあるメニューが注目を集めている。以前から「緑が好きだから」とのことで、人気ナンバーワンのお店「ユアーズキッチン」だ。放課後、部活帰りの空腹を満たそうと多くの大高生が日々通い詰める。

「高校生だけの話じゃないけど、スマホを持つようになってくると、会話が少ない。スマホを持つようになったら、会話の文字を書いたり、計算したり、会話をするのをスマホに頼り切ってしまうってよね...」とスマホと高校生との関係に少し心配をのぞかせる。ついつい「歩きスマホ」をしたり、友達とスマホのラインでの会話で済ませてしまっても多い高校生としてちょっと反省。大高OBとして「安



19年間大高生を見守ってきた店主の當田さん。やさしい笑顔もお店の人気の理由だ。手が進まらなく、最近はお店から漂う出来たてのポテトの香りに誘われて立ち寄らずにはいられない。



【お知らせ】大高ジャーナルは、バックナンバーも含めて本校の「大高ブログ」から紙面をご覧ください。